

電気けいれん療法委員会による ECT エキスパートを対象とした  
オンラインアンケート調査のお願い

JSGHP 会員各位

日頃より、当委員会の活動に多大な御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今回、我々は電気けいれん療法（ECT）を日常的に実施されておられる先生方が、日頃よりお困りになることが多い、“電気けいれん療法における適切な発作誘発困難時の対応”について調査を行っております。

“電気けいれん療法における適切な発作誘発困難時の対応”はさまざまな技法が提案されているものの、十分なエビデンス構築には至っておらず、臨床家各人がどのような序列で各対応法を用いているのかはわかっていないのが現状です。このため、今回の調査を通じて、エキスパートコンセンサスを作成し、皆様の日常臨床のお役に立つことが出来ればと考えております。

調査は、当学会 ECT 研修施設を中心に、この領域のエキスパートである先生方にアンケートへのご協力をお願いする形で行っております。アンケート自体は、Google form を用いた web 調査となっており、**15 分程度**でお答えいただける内容となっております。

もし、御所属の施設に先生以外にも ECT を担当されてエキスパートの先生（ECT 講習会受講歴あり且つ 3 年以上の ECT 臨床経験あり）がおられましたら、その先生方にもご記入を頂けるよう、お声掛けなどを頂ければ幸いです。

なお、本研究につきまして関西医科大学医学倫理委員会、ならびにアンケートについては日本総合病院精神医学会理事会の承認をいただいております。

令和 5 年 2 月 22 日

日本総合病院精神医学会 電気けいれん療法委員会  
委員長：熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座 竹林 実  
副委員長：京都大学医学部付属病院精神科神経科 諏訪太郎  
委員：関西医科大学医学部精神神経科学講座 嶽北佳輝  
担当理事：公立置賜総合病院精神科 赤羽隆樹